

塚口中だより

〒661-0003 尼崎市富松町4丁目3番1号 (Tel)06-6421-0620 <http://www.ama-net.ed.jp/school/J15/index.html>

赤ちゃんふれあい授業



1月31日、塚口中学校3年生の家庭科

の授業で「赤ちゃん・お母さん」とのふれあい授業が行われました。尼崎市こども青少年局とキッズサポーター「つどいの広場」の方々の協力で、今年度は3学年の全てのクラスでふれあい授業が実施できることになりました。インフルエンザの影響で、この日がふれあい授業の初日でした。授業会場の図書室に入室した3年生は少し緊張していましたが、赤ちゃんや幼児を見ると「かわいいなあ」と歓声も上がり、授業の雰囲気もどんどん良くなってきました。

「命の大切さ」「赤ちゃんが生まれてくるまで」「大切に育てられた自分たち」を知る機会と、「思いやり」「優しさ」「他人の気持ちを考える」を再確認できた大切な一時でした。あと5クラスもこの2月に実施していきます。

楽しみです。



そして 思いやりを

ほんの少しの気遣い

現代社会では皆さんも知っているように、様々なものが機械化されています。たとえば、交通機関において昔は、窓口で行き先を告げて切符を購入することがほとんどでした。しかし、現在は券売機で切符を購入することがあたりまえになっています。また、切符を購入した後は自動改札を通ることになり、カード専用の自動改札もできています。ほとんどの人は通勤や通学で券売機も自動改札も慣れているので困ることはないでしょう。

それでは、券売機などに慣れていない人に出会ったら、私たちはどのように接すればよいのでしょうか。その人の代わりに切符を購入してあげればそれでよいのでしょうか。 昨年、新幹線に乗って東京方面に行ったときのことです。在来線への乗り換えをする際、初めて行った場所のため、目的のプラットフォームが分からず、乗り換え時間はどんどん近づいてきて、かなり焦った経験がありました。また、構内には案内板も設置されていますが、複雑な駅構内の場合、案内板すら理解できないこともあります。お年寄りや目の不自由な方々が外出する際に、不安な要素もたくさんあると感じた出来事でした。

以前、生徒朝礼で「道で困っているお年寄りに声をかけ、自宅まで送ってくれた生徒の話」をしました。通りがかった生徒たちの素早い判断と行動が中学校と地域をつなぐ気持ちの良い出来事となりました。一方、先日登校途中の塚中生と自転車との接触事故がありました。幸いケガはなかったようですが、その時に「邪魔や、おばはん。」といった心ない発言があったようです。原因がどちらにあったかはわかりません。しかし、相手のことを思う言葉が何故なかったのか？ 相手にケガがなかったらどうか、驚かせてしまった、それに対する気遣いの言葉があればよかったのに……と残念でなりません。

時間に追われる日々ですがほんの少しの気遣いと思いやりは大切にしてほしいと思います。

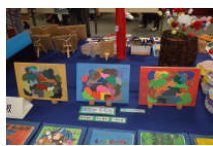
なかよし作品展

1月30日(水)～2月3日(月)尼崎市総合文化センターにて「なかよし作品展」が開催され、本校からも真島学級の生徒作品が出品されました。

作品展の期間中、毎年約1000名の来館があり会場は熱気に包まれます。今年はジグソーパズルや刺し子ししゅう作品など、鮮やかな色の作品が多くの人たちを出迎えてくれました。

また、この作品展期間中に

「尼崎市児童生徒文化発表会 書道展」も行われ、塚口中書道部の作品が出品されました。



ひとりひとりの持ち味がにじむ 美術展

1月は数々の作品展が行われました。美術展では本校の美術部の作品が出品されました。モノトーンのデッサン画は緻密さの感じられる作品でした。



……お知らせ……

塚口中学校の学校施設の管理や夜間の体育館の一般開放等でもとてもお世話になっていた、学校開放職員の太田雅一さんが1月25日(土)の朝、突然お亡くなりになりました。突然の訃報に先生たちも信じられませんでした。

中学生が大好きで、元気な声に生徒だけではなく、先生たちも元気づけられることが何度もありました。とても残念で悲しい出来事です。先生たちも気持ちを切り替えて授業・クラブに頑張ってください。皆さんもしっかり協力し、ついてきて下さい。1月28日より、後任の学校開放職員には林田政行さんが着任されました。よろしくお願いします。

